

サルモネラ感染症：食中毒

- 好発時期・年齢：6～10月、小児・高齢者（全年齢で起こりうる）
- 爬虫類（ミドリガメ）・鳥類・両生類等の動物との接触、生卵やその加工品、食肉（牛レバー、鶏肉）などの摂食
- 発生数：400-3,500人/年 ●食後8～48時間
- 症状：下痢・血便・嘔吐、発熱
 <合併症>意識障害・けいれん・菌血症
- 検査：便培養 ●治療：安静、経口補水液、抗菌薬
- 登園・登校：下痢改善後
- 予防：調理者の手洗い・調理器具の洗浄、食品の加熱（中心部：75℃・1分以上）。排便後やおむつ交換後の手洗い。